

施策評価シート(平成21年度の振り返り、総括)

作成日 平成 22 年 7 月 16 日

施策No.	10	施策名	防犯体制の充実
主管課名	総務課	主管課長名	木暮 勤
関係課名	教育課(生涯学習G)		

施策の目的 【対象】	対象指標名	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
			実績	実績	実績	実績	見込み	度
①町民(外国人含) ②来訪者(日帰り+宿泊)	①人口(外国人含)	人	24,250	23,809	23,305	22,924	22,591	
	②来訪者数	人	3,850,066	3,689,183	3,713,752	3,600,664		

施策の目的 【意図】	成果指標名	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
			実績	実績	実績	実績	目標	度
①犯罪を防止する。(防止・抑止) ②犯罪被害にあわないようにする。(自己防衛意識の向上)	①町内の年間犯罪件数	件	160	166	154	147		
	②日頃から防犯意識をもって行動している町民の割合	%			62.6	60.5		
成果指標の把握方法と算定式等	①沼田警察署から資料提供(聞き調査)							
	②町民アンケート							

成果指標設定の考え方	①犯罪件数が減少すれば、犯罪防止及び自己防衛意識の向上につながったと考える。 ②アンケートにより防犯意識を計測する。
------------	---

施策成果向上にむけた住民と行政との役割分担	<p>1) 住民の役割 (住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)</p> <p>①地域ぐるみで防犯意識を高め、防犯活動に積極的に参加してもらう。 ②自衛意識をもって行動する。(あぶないところへは行かない等)</p> <p>2) 行政の役割 (町がやるべきこと、都道府県がやるべきこと、国がやるべきこと)</p> <p><町> ①地域ぐるみの防犯意識の高揚を促進する。(周知等) ②警察等の関係機関との連携等をはかり、非行や犯罪の未然防止に努める。(防犯活動の推進)</p> <p><県(警察)・国> ①啓発・取り締まりをする。 ②迅速かつ的確な情報提供に努める。</p>
-----------------------	--

21年度の 評価結果	<p>1. 施策の成果水準とその背景・要因</p> <p>1) 現状の成果水準と時系列比較（現状の水準は？以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は？）</p> <p>①町内の年間犯罪件数は、H18年160、H19年166、H20年154、H21年147と少なくなっている。犯罪の種類は、町内では「ひったくり」が一番多く、次いで「自販機ねらい」「車上ねらい」の順となっている。</p> <p>②日頃から防犯意識をもって行動している町民の割合はH20年度62.6%、H21年度60.5%と微減している。H20年度の夏、町内においてレイブパーティが開催され、麻薬使用による犯罪が発生した。このため、一時的に町民の関心が高揚したが、その後時間経過とともに意識が薄れたことが考えられる。60%という数字については高い水準にあると思われる。</p> <p>③防犯意識をもって行動している町民のうち、その防犯対策の種類では、家にカギをかけている人が90.8%、屋外センサーライト設置39.1%、一人で夜道を歩かない31.4%となっている。</p> <p>2) 他団体との比較（近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は？）</p> <p>①県内における犯罪件数(刑法犯認知件数の推移)は、H18年32,060、H19年27,769、H20年26,730、H21年24,110と減少しつつある。県内の罪種別では、侵入犯罪の中では空き巣が7割、街頭犯罪構成比率では自転車盗難35.5%、器物損壊26.7%、車上ねらい22.3%、自販機ねらい8.1%となっている。</p> <p>②利根沼田圏内においても犯罪件数はH18年826、H19年730、H20年715、H21年668件と減少している。</p> <p>③犯罪の中でも利根沼田では「ひったくり」「自転車盗」「車上ねらい」の犯罪が多い。</p> <p>3) 住民の期待水準との比較（住民の期待よりも高い水準なのか 同程度なのか、低いのか）、その他の特徴は？</p> <p>①犯罪ゼロのみなかみ町になることを願っているが、H21年度は147件発生している。</p> <p>②警察への迅速・的確・きめ細かな活動を期待している。</p> <p>③犯罪につながるおそれのある「たまり場」をなくしてほしいという要望に対し、警告掲示をするなどの対策により減少した。</p>
	<p>2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括</p> <p>1) 防犯対策事業(防犯灯の設置助成・一部維持管理等)は、夜間の犯罪抑制に効果があった。</p> <p>2) 町の防犯協会が10月に「みなかみ町秋季地域安全パレード」を実施。水上小金管バンドを先頭に水上支所から温泉街を通り水上小まで防犯、地域安全の啓発を行った。</p>
	<p>3. 施策の課題認識と改革改善の方向</p> <p>1) ケシの花等、法律で栽培を禁止された植物とは知らずに育ててしまうことが時たま見受けられるので、保健福祉事務所等と連携して撲滅にむけ対策を講じている。</p> <p>2) 不審者情報配信システム(携帯メール情報)利用者の拡大を検討する。発信は現在町でおこなっているが、警察から直接すばやく発信できるようなシステムの構築ができればよい。</p> <p>3) 防犯灯の管理等において3地区で差異があるので見直しの必要があると思われる。</p>